

FOREST

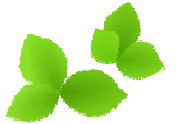
しんが

伊豆市立修善寺東小学校

5月22日(水)に伊豆市の地蔵堂国有林(筏場・大見担当区内)の「コビサワラ原生林」(以下、「原生林」)において、伊豆市立修善寺東小学校の4・5年生の自然体験学習が実施されました。

児童たちは、萬城の滝キャンプ場から原生林までの往復約4.5kmの道を周辺の植物や地形等を観察しながら歩きました。

新緑のコビサワラ原生林散策



コビサワラ原生林には巨木がいっぱい

当日は、強い日差しが照りつける汗ばむ陽気となりました。

今回は、伊豆市立修善寺東小学校の4・5年生児童と教員50名のほか、天城ガイドクラブの指導員6名、当署職員3名が参加しました。

開会式の後、指導員の方々の先導のもと、班ごとにまとまって原生林を目指して出発しました。

原生林入口までは舗装された長い林道をひたすら登っていきませんが、「疲れた」「もう歩きたくない」と口々に言いながらも、みんな元気に歩いていました。



この白い花は何か？



指導員さん引っ張って！



猛毒！ハシロコ

林道では、道沿いにあるウツギ類やヒノキ等の植物の特徴のほか、ワサビ田や天城地方の地質等の幅広い内容について、指導員の方々のお話を聞くことができました。

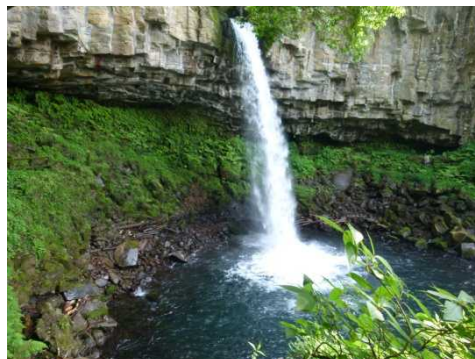
原生林内はブナやヒメシヤラ、モミ等の大木が多くみられ、トリカブト、ハシロコ、ナベワリの3大毒草も生育しています。児童たちは興味深そうに毒草を観察したり、ヒメシヤラの幹のひんやりした感触を確かめたりしていました。また、火山の噴出石である黒曜石を拾い集めている児童もいました。

帰りにはキャンプ場近くの萬城の滝まで足を伸ばし、涼やかな気分で原生林散策は終了しました。

新緑の時期の散策は、伊豆の自然の美しさを子供たちに深く印象つける機会となったと思います。(ぴこ)



おじさんの顔に見える？ムウに見える？



萬城の滝